8

三宅（みやけ） 和広（かずひろ） 議員

鳥獣被害対策実施隊の負担を軽減するために



詳しくはコチラ

Q 捕獲した鳥獣の処理が鳥獣被害対策実施隊員の負担になっている。岩手県遠野市では、大型排水管を利用した処理設備を導入している。負担軽減に大きな効果が出ており、また、大規模な減容施設建設に比べると設置費用は安価である。本市でも導入してはどうか。

A ご提案いただいた大型排水管を利用した簡易減容設備は、導入費用、処理費用ともに安価であり有力な方法である。一方で、周辺地域へ悪臭などの影響が懸念されるため、さまざまな点を考慮しながら適切な方法を検討していく。

Q 鳥獣がわなにかかるとメールで通知され、その現場をライブカメラで確認できるようなシステムは、鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減につながる。本市でも導入してはどうか。

A 効率的な捕獲活動を実施するためにＩＣＴ機器の活用は有効な手段である。実際に運用することとなる鳥獣被害対策実施隊員の意向も考慮しながら、本市の実情に合う機器の導入を検討していく。

